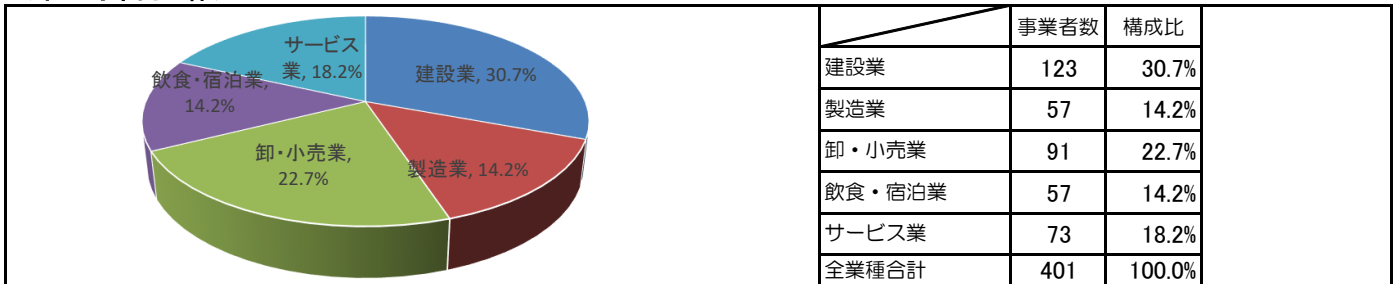


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R3.4.1~R3.6.30) 川西地区

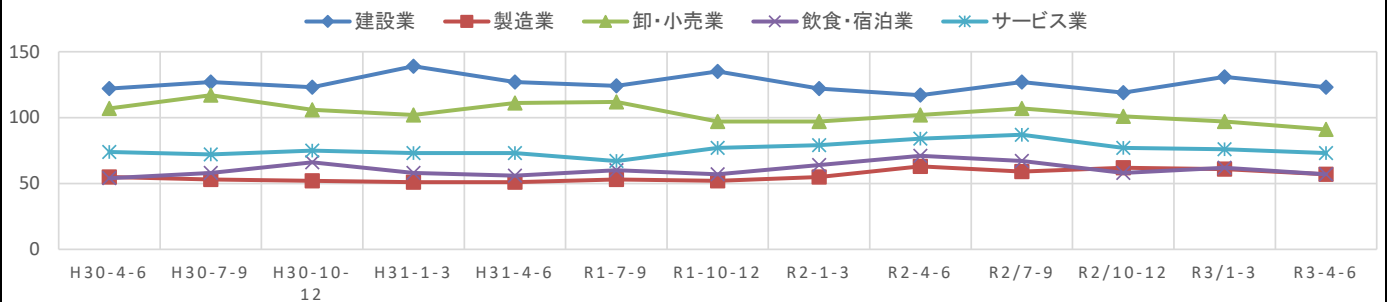
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



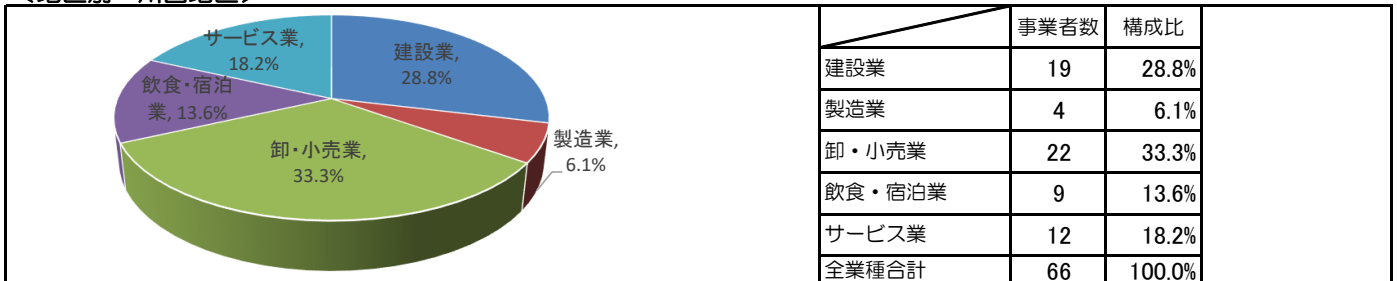
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



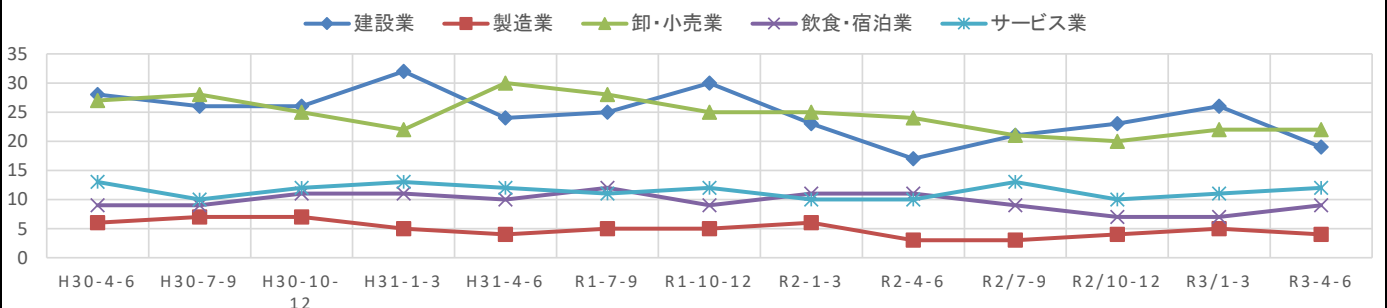
<コメント>

今回の調査は、十日町市内401事業所から回答を得られ、前回調査よりも26事業者減少している。建設業と製造業において減少があったものの、回答割合については大きな差はないものとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

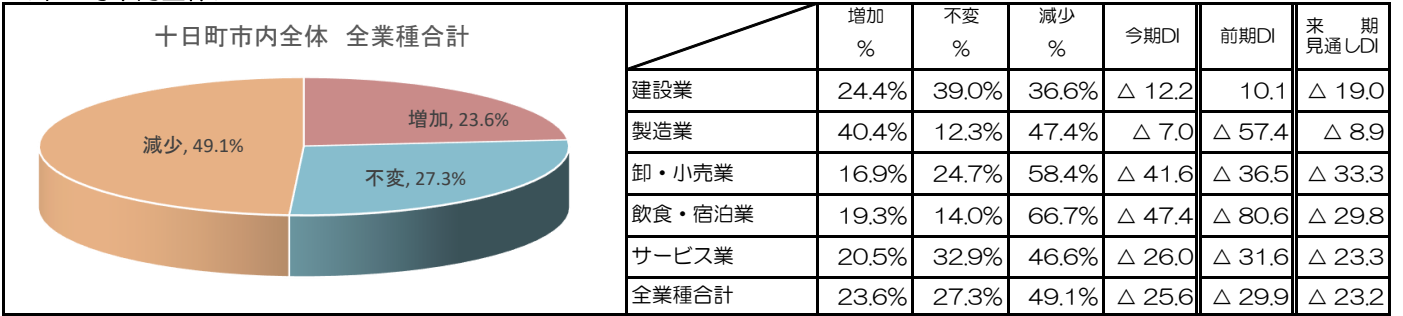
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、66社(回収率66%)からの回答をもとにした集計結果である。建設業の回答割合が減少したことから、今回の調査においては卸・小売業の回答割合が最も高くなっている。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

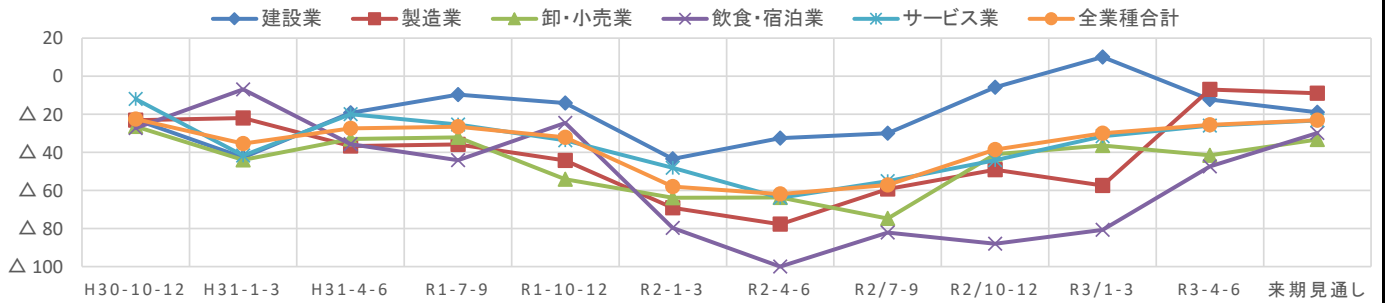
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



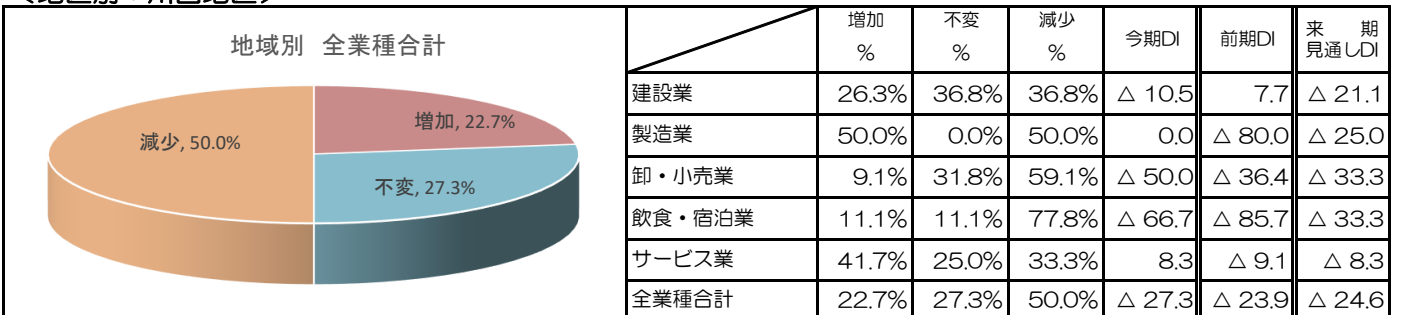
業種別売上の推移（市内全体）



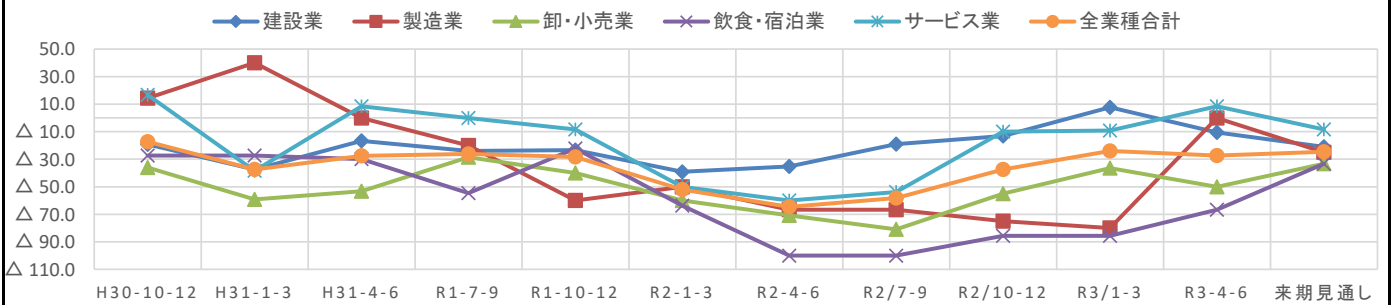
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△25.6ポイントで、前回調査時よりも4.3ポイント上昇となっている。建設業と卸・小売業以外の業種にて上昇しており、全体の値を引き上げている。来期見通しでは建設業と製造業は低下予測であるが、その他の業種では上昇予測となり、全業種DI値においても上昇する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



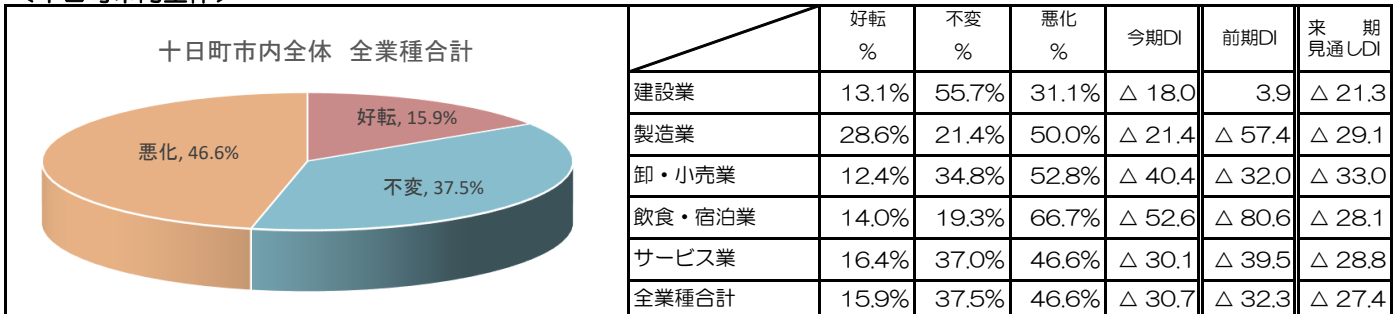
<コメント>

川西地区の売上は業種全体で、△27.3ポイントとなっており、前期と比較して3.4ポイント減少している。製造業、飲食・宿泊業、サービス業では増加している一方で、建設業、卸・小売業では減少している。来期の見通しは業種全体で△24.6ポイントで、今期よりも増加する予測となっている。

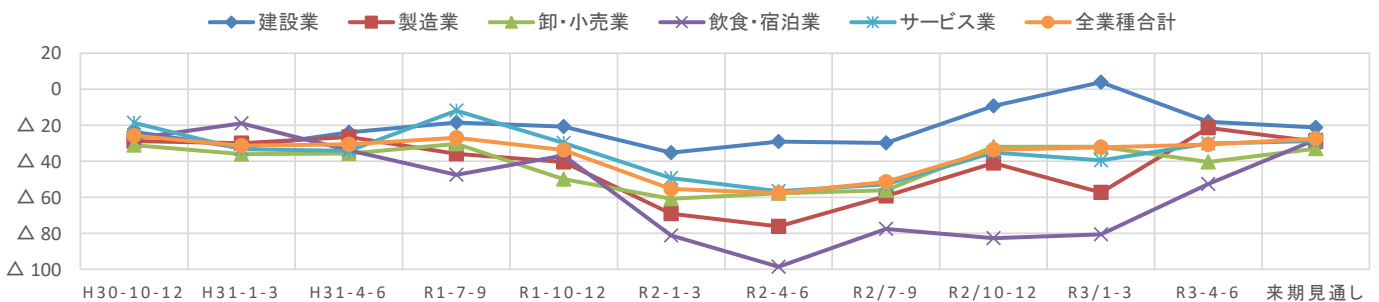
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



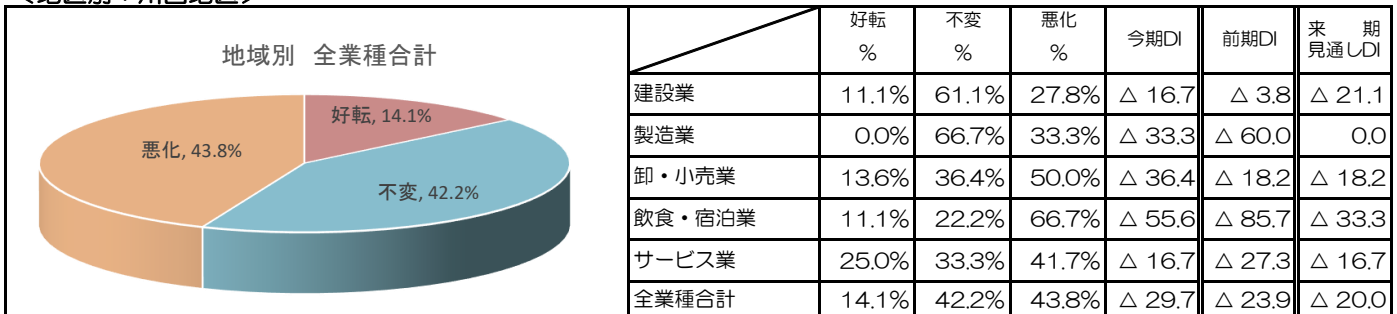
業種別採算の推移(市内全体)



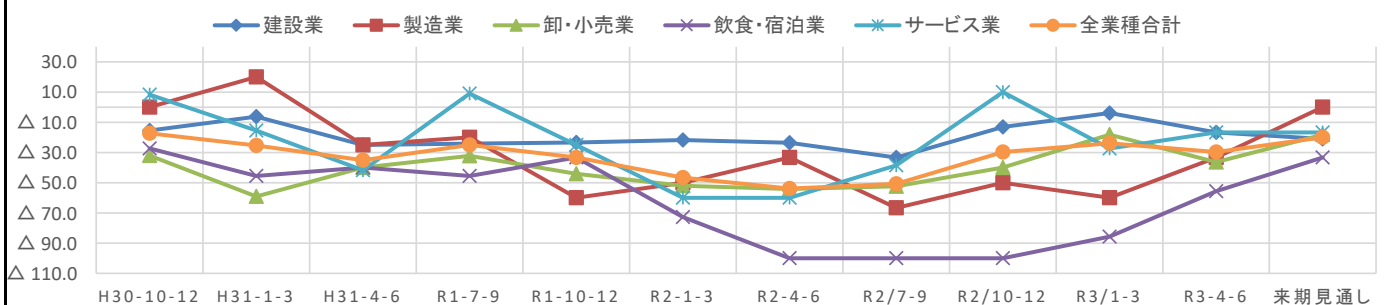
<コメント>

十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△30.7ポイントで、前回調査より1.6ポイント好転している。建設業と卸・小売業の悪化が大きいですが、その他の業種で好転してたことが要因となる。来期見通しでは、建設業と製造業にて悪化予測されているが、その他の業種では好転予測であり、全業種DI値においても好転見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



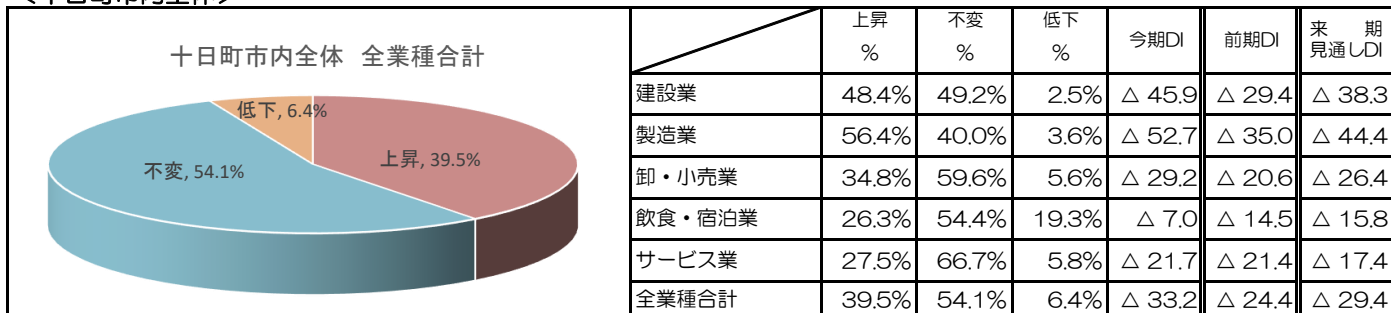
<コメント>

川西地域の採算性は、全業種で△29.7ポイントで前回調査時より、5.8ポイント悪化している。前回調査時と比較すると、サービス業、製造業、飲食・宿泊業では好転しているが、建設業と卸・小売業では悪化が見られた。また、来期の見通しとしては、製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業で好転予測が出ており、全業種でも好転する見通しとなっている。

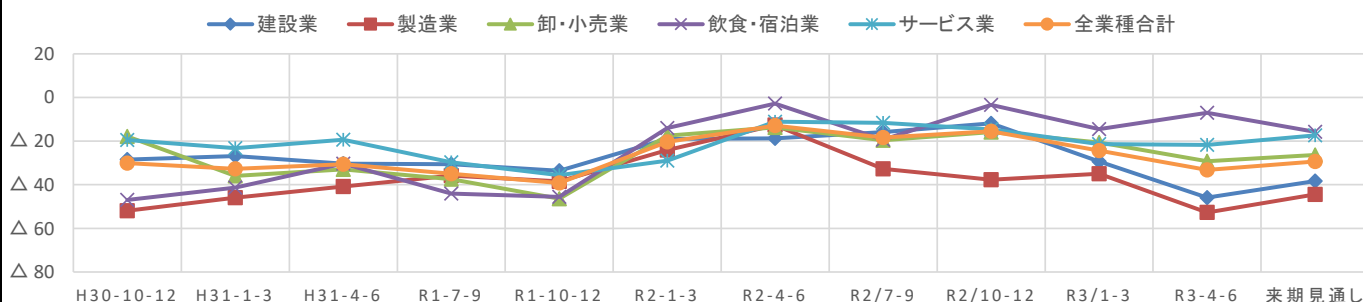
3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



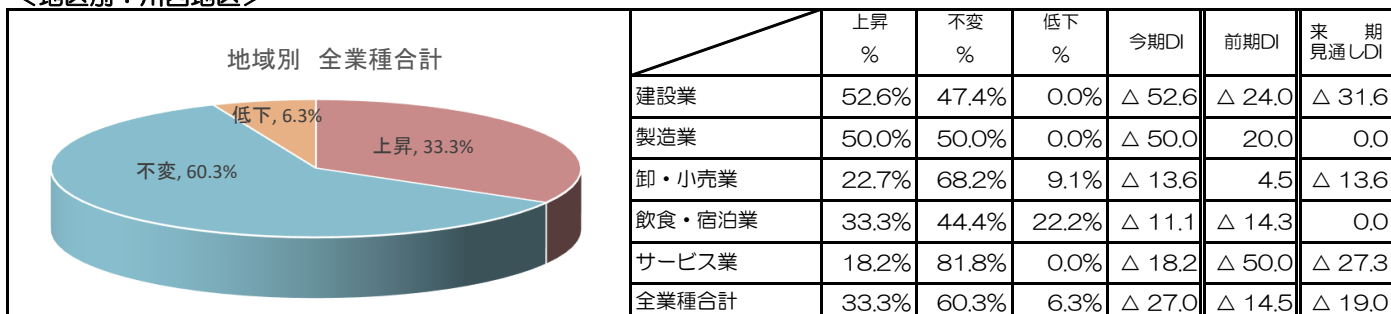
業種別仕入単価の推移(市内全体)



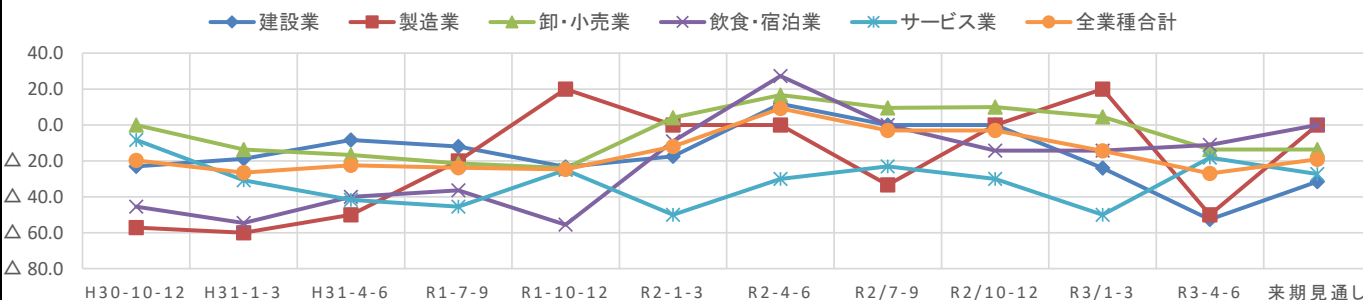
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△33.2ポイントで、前回調査時よりも8.8ポイント低下している。飲食宿泊業以外の業種において低下しているが、全業種合計において不変回答が半数以上を占めていることから大きな変動はないものと推測したい。来期見通しとしては、今期よりも全業種DI値が上昇する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



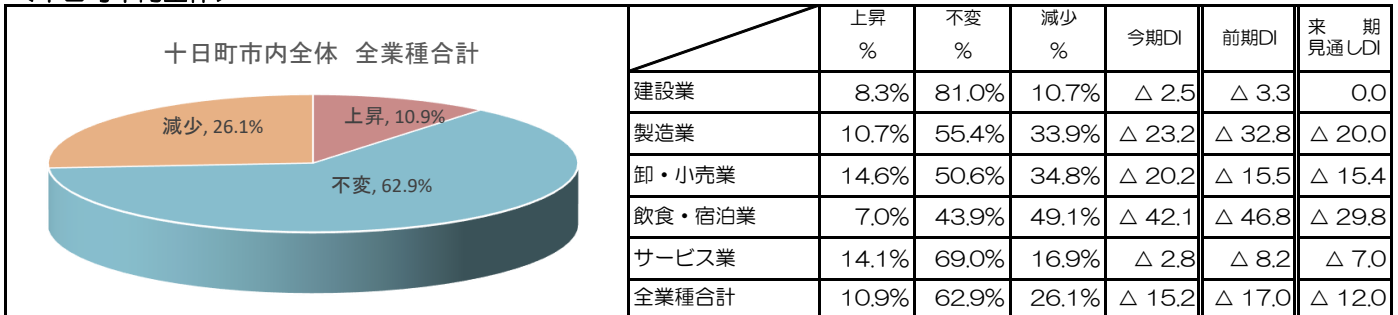
<コメント>

川西地域の仕入単価は、全業種で△27.0ポイントとなっており、前回調査時と比較して12.5ポイント上昇しており、特に製造業では大幅に上昇している。来期の予測については全業種では減少予測となっており、卸・小売業とサービス業以外の業種で減少の予測となっている。

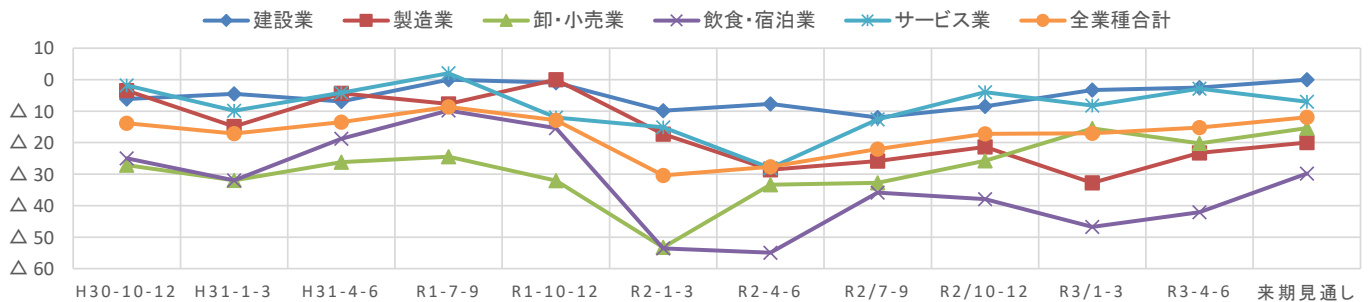
4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



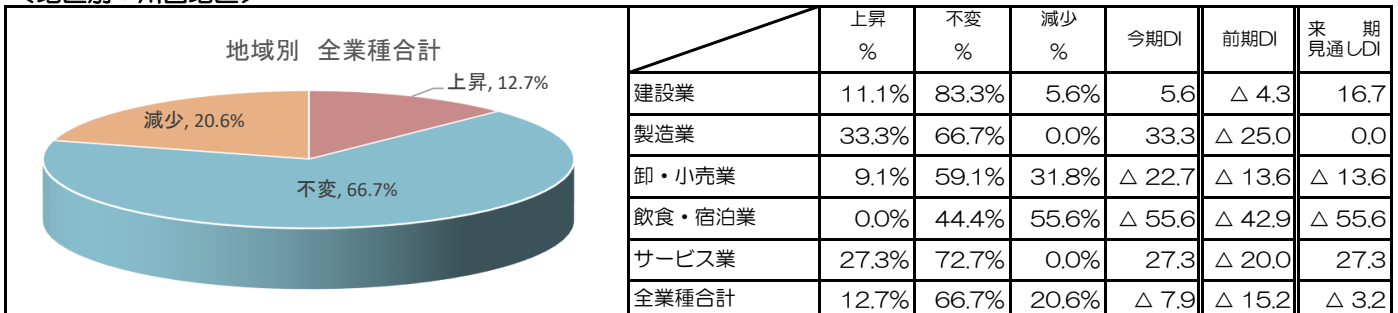
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



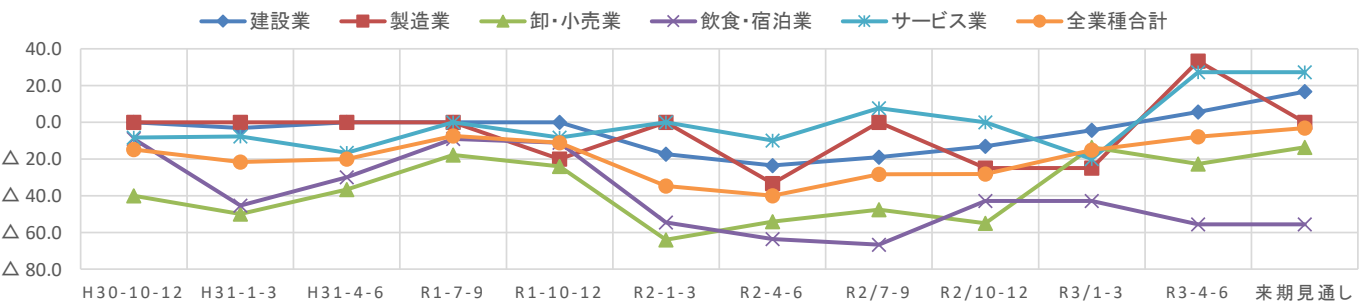
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△15.2ポイントで、前回調査時より1.8ポイント上昇している。卸・小売業において低下が見られるものの、その他の業種においては上昇している。来期に関しては、サービス業が低下予測であるが、その他の業種は上昇予測であり、全業種DI値も好転する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



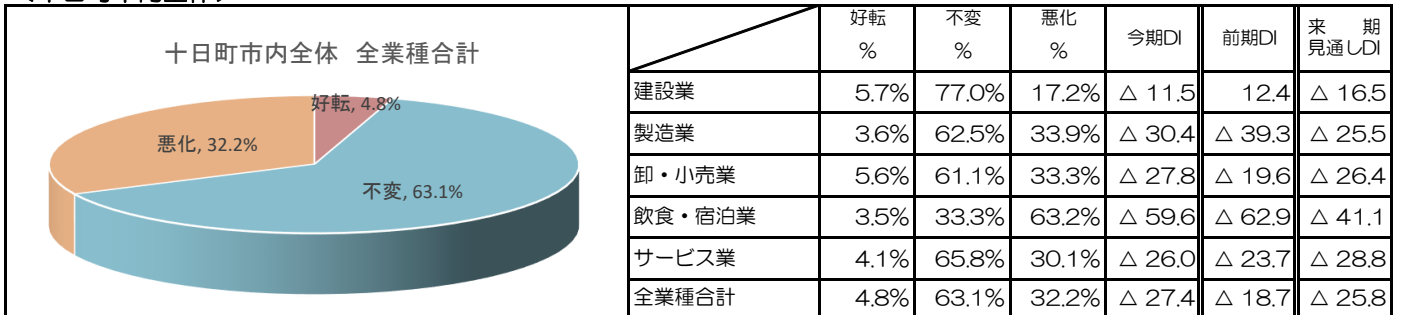
<コメント>

川西地区の販売(客)単価は、全業種で△7.9ポイントで前期よりも7.3ポイント上昇している。卸・小売業、飲食・宿泊業においては、減少が見られるが、その他の業種では上昇となっている。来期の見通しについては、製造業で減少予測となっているものの、建設業、卸・小売業で上昇予測となっており、全体では若干の上昇予測となっている。

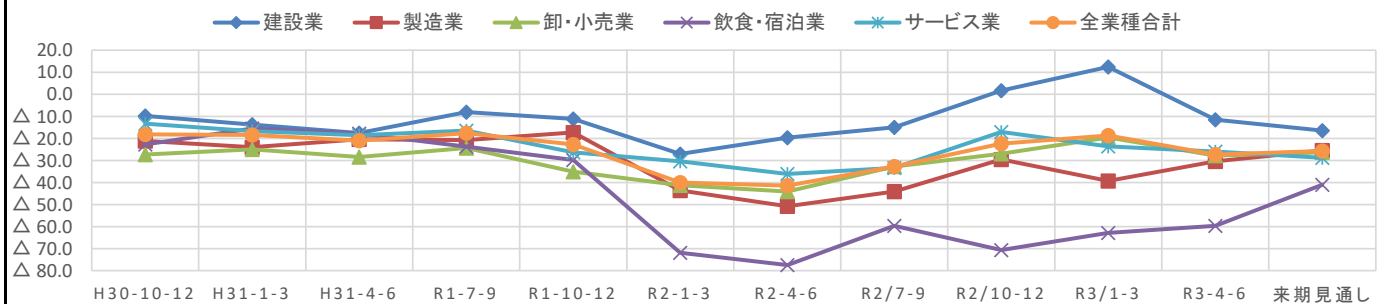
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



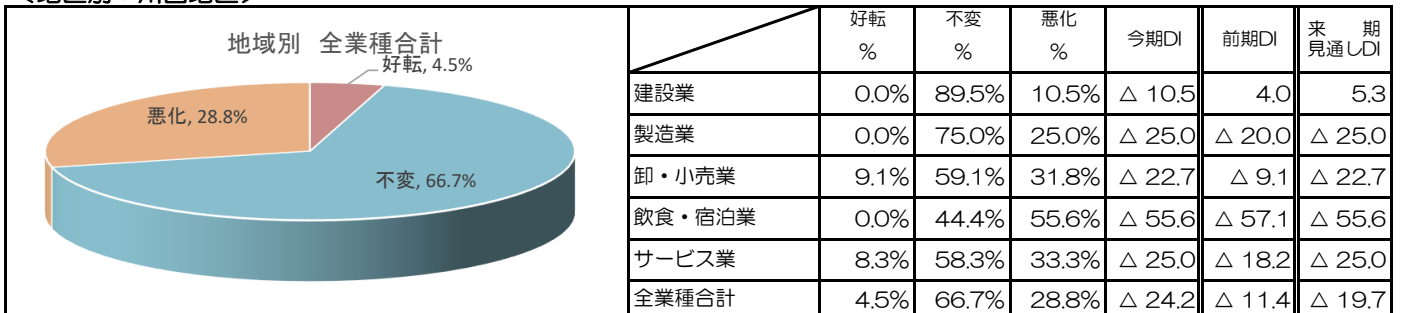
業種別資金繰りの推移(市内全体)



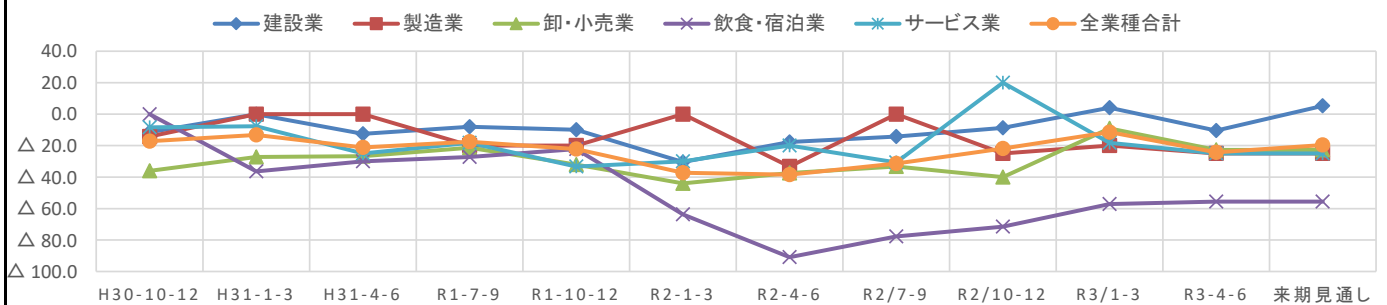
<コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△27.4ポイントで、前回調査時より8.7ポイント悪化している。建設業と卸・小売業、サービス業が悪化しているが、その他の業種では好転している。来期見通しとしては、建設業とサービス業で悪化予測となるが、その他の業種では好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



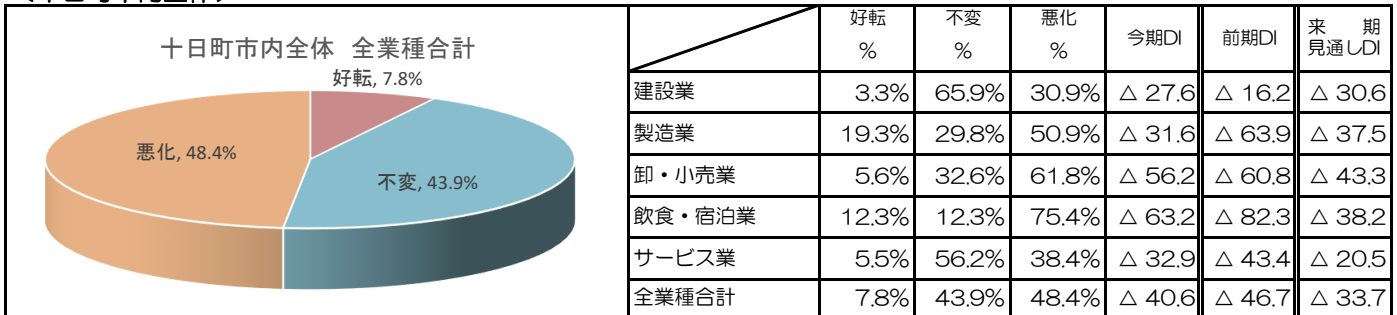
<コメント>

川西地区の資金繰り状況は、全業種で△24.2ポイントで、前期と比較すると12.8ポイント悪化しており、飲食・宿泊業以外のすべての業種で悪化が見られた。来期見通しは、全業種で△19.7ポイントとなっており、今期と比較すると若干好転する予測となっている。業種別に見てみると、建設業では好転の予測となっているが、その他の業種においては、大きな変動はないと思われる。

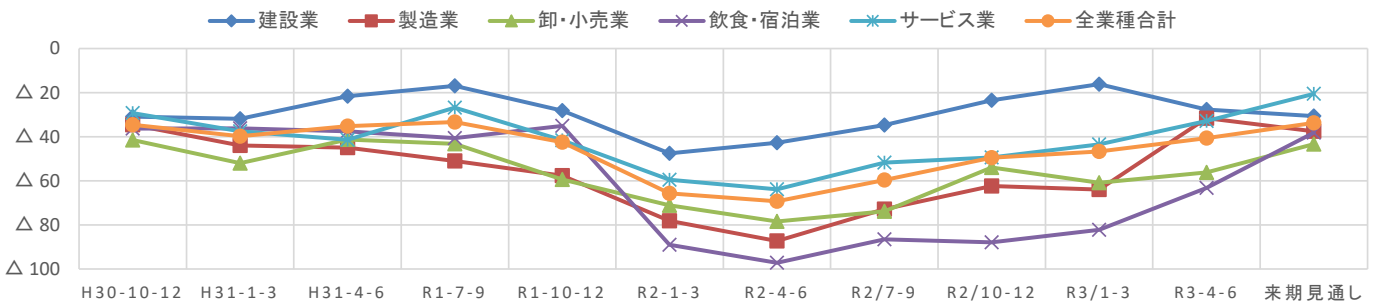
6. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



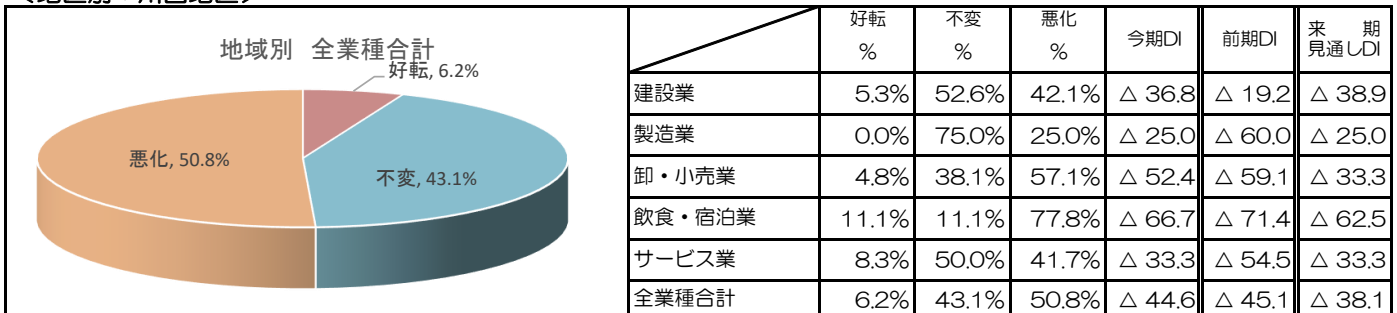
業種別景況判断の推移(市内全体)



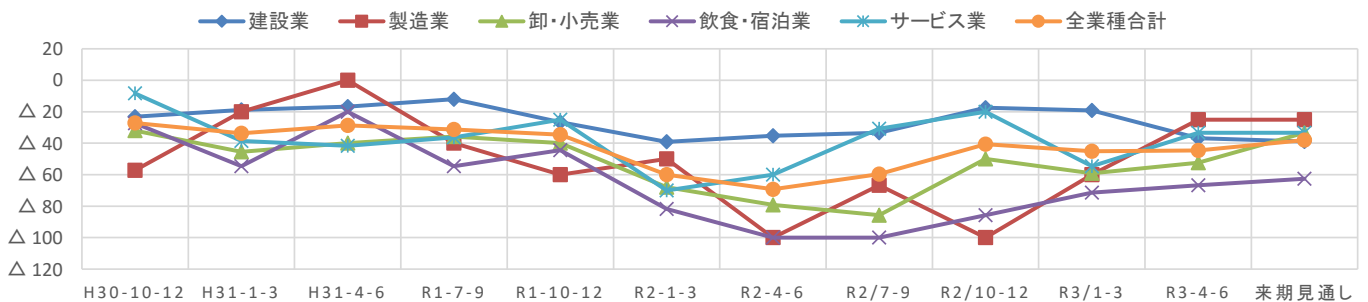
<コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△40.6ポイントで、前回調査時よりも6.1ポイント好転している。ウッドショックの影響により建設業の数値悪化があると推測するが、その他の業種は好転を示している。来期見通しは、建設業と製造業が悪化予測となるが、その他の業種は好転予測であり、全業種DI値についても好転する見通しである。今後の動向に注視したい。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



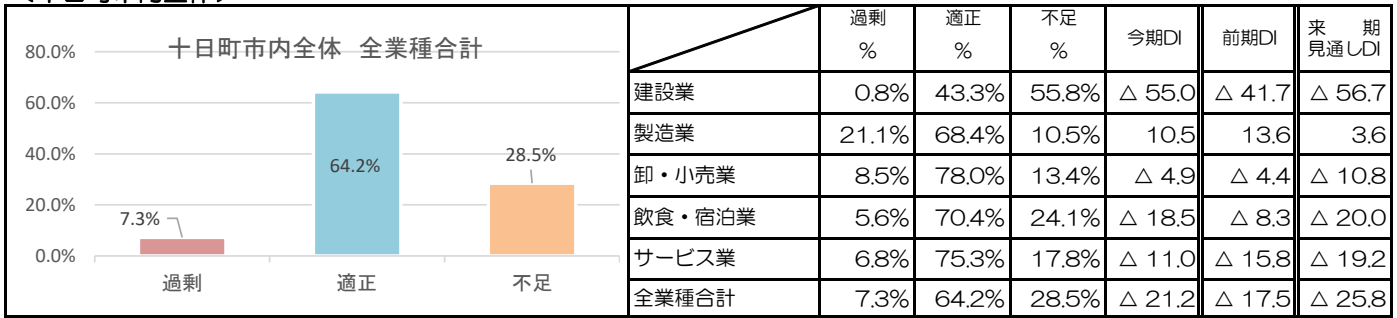
<コメント>

川西地域の今期の景況判断は、全業種で△44.6ポイントとなっており、前期と比較して0.5ポイント好転し。建設業では悪化が見られたが、その他の業種において好転している。来期見通しについては、卸・小売業で好転予測が出ているが、その他の業種では大きな変動はないようである。全業種においてもDI値△38.1ポイントとなっており、今期よりも若干好転するとの予測になっている。

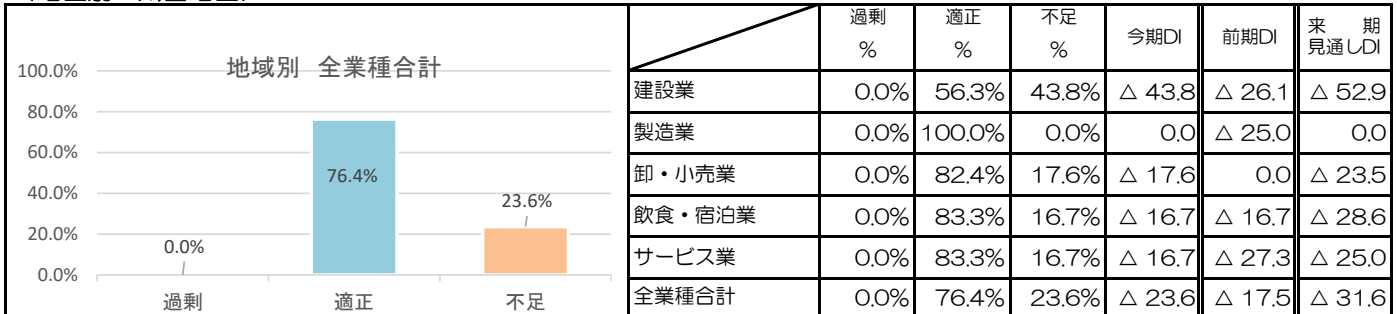
7. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

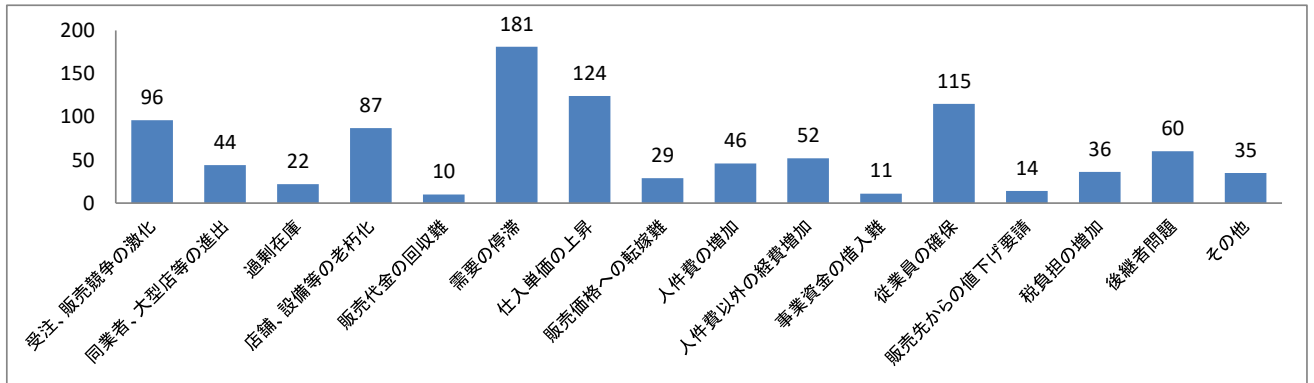


<コメント>

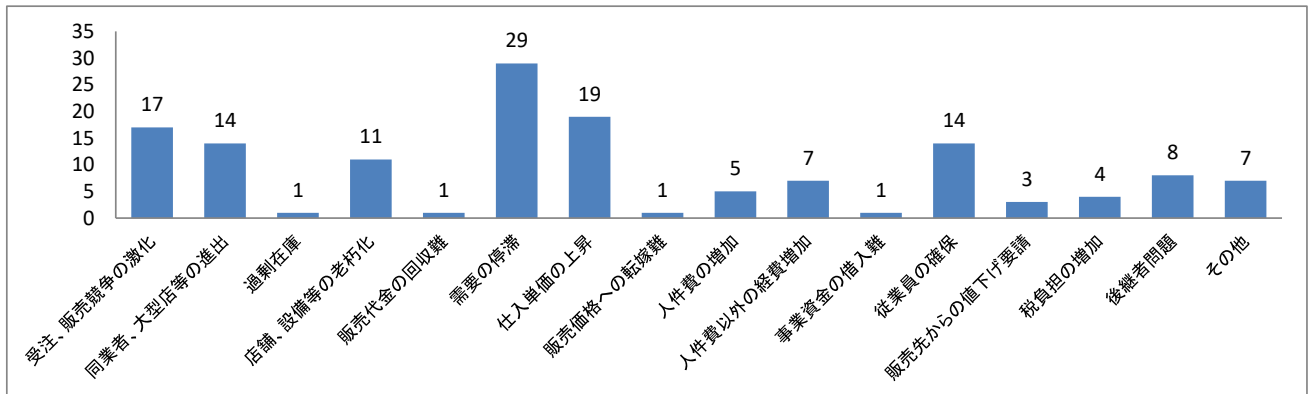
今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.0%、不足回答が4.7%前回調査時よりも増加している。川西地区の状況は、不足回答が23.6%となっており、前回調査時より4.6%増加している。特に、建設業では不足回答が多く、従業員の確保が課題となっている。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位の「需要の停滞」は変わらなかったが、2位から5位の項目は、「仕入単価の上昇」が急激に増え2位となり、その他の項目は前回調査時から順位を1つ下げた。

川西地区の経営上の問題点上位3点は、1位「需要の停滞」、2位「仕入単価の上昇」、3位「受注、販売競争の激化」であった。市内全体の状況と同様、「仕入単価の上昇」を問題点としてあげる事業者が大幅に増えている。

9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

| |
|---|
| <p>【建設業】 建設業においては、仕入単価の上昇回答が多くみられ、経営上の問題点の1位になっている。また、これまでと同様、雇用動向の悪化回答も多く、「仕入単価の上昇」に次いで、多くの事業所が経営上の問題点としてあげている。その他の問題点として、「需要の停滞」が3位にあげられた。</p> |
| <p>【製造業】 製造業では前回調査時と比較して、売上や販売(客)単価が増加している一方で、仕入単価が上昇している事業者が伺える。経営上の問題点には「店舗、設備等の老朽化」、「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」、「人件費以外の経費増加」が挙げられており、多方面に課題を抱える事業者が多いようである。</p> |
| <p>【卸・小売業】 卸・小売業では、売上の減少と仕入単価の上昇がみられた。来期の見通しは、売上については若干の改善が見られるが、仕入単価については改善の予測が見られなかった。経営上の課題では、「受注、販売競争の激化」が増加し1位となった。その他の課題として「同業者、大型店等の進出」、「需要の停滞」が上位にあげられた。</p> |
| <p>【飲食・宿泊業】 飲食・宿泊業においては、前期よりも数値が改善した項目が多くみられるものの、好転回答が全体的に少なく、不変回答が多く見られた。経営上の課題では、「需要の停滞」と回答する事業所が急増しており、回答事業所の半数以上が課題として回答している。その他にも「店舗、設備等の老朽化」、「仕入単価の上昇」など様々な課題があげられており、多方面に課題を抱える事業者が多いようである。</p> |
| <p>【サービス業】 サービス業においては、売上や販売(客)単価の増加が見られ、仕入単価が減少したことから、景況判断も前期と比べて好転している。一方で、経営上の問題点として「需要の停滞」と回答する事業者が増加しており、重要課題となっているようである。その他「受注、販売競争の激化」、「同業者、大型店等の進出」、「従業員の確保」もあがっている。</p> |